



広がる夢

子どもたちが心豊かでたくましい生き方を 自ら切り拓いていくために
「一人ひとりが生き生きと活動できる学校」を目指して

さいころ Discover サイコロ

ふくこうちょう しらくら てるみつ
副校長 白倉 輝満

大忙しかった今年も、いよいよ残すところあと一か月です。皆さんにとってどんな一年だったでしょう。さて、年末年始といえば、サイコロを使って遊ぶ機会もあると思います。出したい目を念じて振るけれど確率は同じ…と思いがちですが、市販品でそれぞれの目が出る確率は、正確には1/6ではないのだそうです。

理由は、それぞれの目を掘る量が違うため。重い面と軽い面ができ、バランスが中心からずれているからだそうです。軽い面が上に来るなら「6」の確率が一番高そうですね。ところが、もっとも出やすい目は意外にも「5」だそうです。「5」と「6」は同程度の軽さですが、反対側にも着目すると、「6」は最も掘る量が多くて軽くなる「1」、「5」は最も掘る量が少なく重くなる「2」です。つまり、軽い「5」と重い「2」の面の組み合わせのため、「5」の目が出る確率が高いそうです。ただし、市販品でその差は0.05%程度だそうです。

他方、サイコロは、見る角度によって見える目の数が違います。上、下、左、右、反対側、など、一つのサイコロを見るタイミングや見方によって、まったく異なる面が見えるのです。

さて、皆さんは今年一年を振り返ってみて、幸せなことはどのくらい印象に残っているでしょう。人間は、原始時代に野生動物から身を守るため、不快なことに注目する傾向を身につけたと言われています。しかし、現代では野生動物から襲われることはほぼありません。逆に、必要以上に気にしすぎることで、不安が増幅してしまうこともあるそうです。

同じことでも、裏側や別の角度から見ることで、新たに素敵なことが発見できることもあります。これから未来を生きていく皆さんにとって、良かったことに着目したり、発見したりして、幸せを実感することは、大切な力の一つになるのかもしれない。